



平成 24 年 9 月 20 日

歯学部生がベトナム国ホーチミン市での国際医療貢献活動に参加

<概要>

平成 24 (2012) 年度の岡山大学機能強化戦略経費により支援を受けて、歯学部 3 年次生 (2 名) と卒後研修歯科医師 (1 名) が教員 (1 名) とともに、歯学部 OB が運営する NPO 法人「Dentist Network from Okayama to the World (DNOW)」の国際医療貢献活動 (9 月 13~16 日) へ参加しました。DNOW が年に 2 回行っている国際医療ボランティアに参加して、日本国の歯科医療界がアジアで果たす役割を考える機会にしています。なお、これまでも平成 18 年度から継続して歯学部学生等が自発的に参加してきました。学部生と同窓生の連携で、国際感覚を養うことを継続しています。

<本文>

岡山県瀬戸内市で開業している歯学部 OB (二期生 中條新次郎 代表) が運営する NPO 法人 DNOW (<http://www.dnow.or.jp>) は、ベトナム国ホーチミン市のカトリック団結委員会 (Catholic Committee of Ho Chi Minh City) の傘下にあるストリートチルドレン友の会 (FFSC : Friends for Street Children) とともにホーチミン市にある施設において、定期的に夏季と冬期に歯科検診を実施して予防処置と緊急治療を行っています。DNOW の前身の団体の時から、歯学部、大学院医歯薬学総合研究科、そして大学病院に在籍する学生や研修医は積極的に参加して、今回で 7 年目に入りました。(参照：募集ポスター)

歯科検診結果は、検診記録として保存して、同施設の子どもの健康管理や子どもの成長の見守りに用いています。一方で、歯学部生は参加するまでもなくこれまでの検診記録を整理して、社会経済の発展が急速に進行するベトナムの状況が子どもの口腔内の衛生管理に与える影響を考察したり、そこへの歯科医療チームの介入の効果を検討したりしました。(参照：昨年度の学部生の自由研究演習における発表スライド)

今回の参加によって、歯学部生の歯学部卒業生との交流も盛んになり、学部生の社会的教育の一環となり、多様な歯学部教育が行われていることを示しています。なお、今年度はこれまでに、スモークーマウンテンで有名なフィリピン国のトンド地区や同国セブ島のスラム街での調査も行い、今後の歯学部生に対する国際医療貢献教育の幅を拡大する準備を行っています。さらに、来年 2 月末には今年度 2 回目のホーチミン市での活動にも参加する予定です。

<お問い合わせ先>

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科歯周病態学分野

(氏名) 高柴 正悟 教授

(電話番号) 086-235-6675, 6677

(FAX番号) 086-235-6679

(メール) stakashi@okayama-u.ac.jp